



東野高等学校同村会会報
No.16 2021年冬号
東野高等学校同村会(同窓会)
〒358-8558
埼玉県入間市二本木112-1



教頭・数学科
森 俊朗先生

◆輝く東野へ

早いもので、東野高校に赴任してから十二年がたちました。当時の中村勤元理事長から誘われ、二十年やってきた学習塾を閉めて、主幹教諭として勤務することになりました。

とにかく進学実績を上げてくれ、というのが理事長からの指示でした。その頃は、大学進学コースと総合進学コースがあり、国立の埼玉大やGMARCHに、少数の生徒がポツリポツリと合格していました。点で合格しているのを線で合格するようにしなければいけないと、まわりの先生方と協力し組織的に指導していくシステムを作ることになりました。

中川校長(現理事長)や北村教頭(現校長)のバックアップをいただきながら、勉強会宿・ゼロ時限講習・放課後講習や長期休業中の講習など、今のSクラスの原型を作っていた

ように思います。その後、若い先生方に代替わりしていく中、筑波や早稲田にも合格者を出し、昨年は日東駒専に百名が合格するまでになりました。

ふと気がつく、私も六十五歳になり、今年度で定年退職いたします。卒業生や現役の生徒諸君に、少しは学校のためになったなと思ってもらえれば、幸いです。

最後に、今、私立高校は十五歳人口が減少していく中、厳しい学校運営を迫られています。特に東野は単独校で、大海原を一隻の船で航海しているようなものです。社会の変化を先取りし、その時代のニーズにあった学校にしていかななくてはなりません。そのような中、一人を越える会員数の同村会には、今後とも陰に陽にご協力をいただき、母校東野を誇りある学校にするため、ご支援をお願い申し上げますとともに、会員の皆様の益々のご発展を祈念し、ご挨拶いたします。

会報冬号連載企画

お世話になった先生方より

森 俊朗先生 2010年(平成22年)4月
塚田智雪先生 1987年(昭和62年)9月より勤続。
多くの卒業生がお世話になりました。現在も東野高校で指導にあたられています。



数学科
塚田智雪先生

東野高等学校の卒業生の皆さん、お元気ですか。私は、元気です。

東野高校は設立してから多くの時間がたちました。当初の卒業生から見れば、だいぶ変わったなと思う人もいることでしょう。文化祭などで来校する卒業生からもよくそういう話を聞きます。多くの人がどのような学校にすべきか頭を悩ましながら考え、今の東野に到達したのだと思います。これからもさらに変化していくはずですよ。

最初の頃は、とにかく自分たちでこのようにしていこうという気持ちが強くて、次第にそれだけではなく社会からの要求にもこたえられる学校にしていこうという考えに至っていき今の学校になったのでしょうか。社会の要求も時代によって変化していきま

した。そのことに応えられることも必要ではありません。学校を変えることは、大きなエネルギーがいるはずですよ。そのエネルギーに耐えられる学校であることは実にすごいことだと思えます。君たちも社会の中で家族の中で大きく変えることに勇気をもって立ち向かえる人になってもらいたいです。

若い人はもちろんのこと中堅と言われる人であろうともその勇気が必要だと思います。そう言えば、映画「ロッキー4」は知っていますか。

ある日、ソビエト連邦の王者のイワン・ドラゴが訪米し、世界ヘビー級王者であ

るロッキーとの対戦を希望します。ロッキーは友のためにドラゴとの対戦を決心します。敵地ソ連に渡り、ロッキーは猛烈なブーイングの中、リングに上がりました。圧倒的な体格差から何度となくマツトに倒されるロッキー。しかし何度倒れようと立ち上がる姿に対して敵意を抱いていた観衆が、その戦いに熱狂し、ロッキーコールまで起こり始めたのです。ドラゴの心の中にもまた、一人のポクサーとしての炎が燃え上がりました。無表情だった男が別人のような、激情をあらわにした表情で最終ラウンドのリングに向かつてゆくドラゴ。迎え撃つロッキー。そして互いに本能だけの壮絶な殴り合いの末、ドラゴはリングに沈んでいきました。

試合後のロッキーの言葉が印象的でした。それは、「最初は観客の自分に対する敵意に戸惑い、自分も観客を憎んだ。しかし戦いの末に互いに気持ちが変わっていった。つまり俺たちは誰でも変われるはずなんだ」とした。この言葉は、観客もスタンディングオベーションで称えたのです。私たちはロッキーでありドラゴでもあります。私たちがロッキーでありドラゴでありそして観客でもあります。試合前と試合後のこの変化はとも興味があるものです。この変化の大きい社会の中で懸命に生きる姿こそが大切だと改めて思います。どんなに東野高校が変わろうとも君たち卒業生を温かく迎えていきます。変わる卒業生、変わる教職員そして変わる学校です。変わることには勇気を持って臨んでいかなければと思っております。



〇二一年九月二十五日、〇二二年総会が行われました。お忙しい中、中川理事長、北村校長には今年もご参列いただき、ご挨拶をいただくことができました。

二〇二〇年度・活動報告、会計報告

二〇二一年度・役員選任、活動予定、予算案
採択済み議案書はホームページにアップしております。ご確認ください。
<https://www.dousonkai.com/>

〇二一年度同村会は、十二名の役員にて活動して参ります。「卒業生と在校生を」「卒業生と東野を」「卒業生と在校生を」繋げる活動を続けていきたいと思っています。

総会後の役員会にて役職も決まりました。中段をご覧ください。同村会役員はボランティアです。皆、仕事や家庭の合間を縫って活動しています。一万人を超える会員を、十二名で支えています。至らぬ点もあると思いますが、ご理解ご協力賜るとともに、一緒に活動していただける方を募集しています。

同村会は、今後も、繋がりが見える活動として、紙面による会報の発行・発送を続けていきます。また、在校生への活動として、「講演会」なども企画検討しています。東野高校には、様々な分野で活躍されている卒業生がたくさんいらっしゃいます。外部から講演者をお招きするだけでなく、進路を考える在校生に向けて、卒業生に大学生活の話や仕事の話などをしていただく企画、「卒業生に学ぶ(仮)」も検討していく予定です。さらに、東野四十周年と合わせた「大同窓会」を、二〇二五年に開催致します。

今年夏に開催された「東京二〇二〇オリンピック」が、我が同村会の会員である、東野高校卒業生が二名出場致しました。コロナ禍において、何よりも明るいニュースとなりました。

ホームページで総会議案書をご覧頂けます

東野高等学校同村会		2020/08/1~2021/07/31	
2020年度決算書			
収入		金額	予算額
会費		2,226,000	2,254,000
受取利息		333	400
雑収入 (遺贈金等)		0	0
その他収入			5,000
寄付金		10,000	200,000
収入合計		2,236,333	2,459,400
前年度繰越金		13,154,366	
総収入合計		15,390,699	
支出		金額	予算額
事務用品費 (用紙・ボールペンなど、消耗品)		49,274	110,000
通信費 (電話・FAX・Eメール・各種送付)		1,069,542	2,000,000
雑費 (印刷費、卒業記念品購入費、周年記念費)		197,194	200,000
印刷費 (会報・学内案内)		109,844	500,000
会議費		81,484	90,000
役員交通費		0	50,000
備品購入費		0	60,000
外注費		48,370	100,000
新聞品等購入費		233,040	300,000
修繕費・雑費		0	60,000
支出合計		1,788,748	4,010,000
繰越		金額	予算額
2020大同窓会準備(口座内移動)		600,000	600,000
翌年度への繰越額		収入合計	支出合計
		15,390,699	1,788,748
			13,601,951
2021年8月14日			
埼玉りそな銀行 普通	198,000	上記の通り、会計報告いたします。	
埼玉りそな銀行 定期	6,712,260	会計 小三池直美	
ゆうちょ銀行 普通	6,631,326	監査の結果、相違ありません。	
ゆうちょ銀行 定期	600,000	監査 根本 章	
現金繰越金	50,263		
合計	13,601,951		

2021年度新役員

- 会長 北澤 理恵③
- 副会長 遠山 尚①
- 経理 小池 直美①
- 下津 郁也⑬
- 監査 羽田 寿孝③
- 事務局 伊達 亮介⑤
- 広報 高橋古志夫④

- 嶋田明美(旧・木崎)①
- 手嶋 毅⑨
- 毒島 純③
- 深澤 寛⑤
- 堀内 優子⑥
- (●は卒業期)

世の中

の状況を受け、今回の総会は、オンラインでおこなわれました。また、総会終了後に座談会のような時間が持たされたことも嬉しい産物となりました。その後の役員会では、今後の総会にむけて、オンラインならではの企画案も出るなど、新しい生活、新しい様式での発展的な発想に繋がりました。できないことを嘆くだけでなく、新し

二十三期生の矢澤亜季さん
「カヌー スラローム女子カヤックシングル」
二十八期生のウォルシュ・ジュリアンさん
陸上男子四〇〇m
今後も同村会は、お二人の活躍を心より応援しております。

いステップアップに繋がっていきけるよう発想の転換もおこなっていきたいと思います。現在同村会は、卒業時に皆様からいただいた会費のみで賄っています。しかし、毎年、三〇〇人を超える卒業生を迎え、会員はどんどん増えていきます。収支を見直し、その中でもボランティアである役員負担をできる限り減らしていけるよう、そしてさらには、次世代にも繋げていけるよう考えていきたいと思っています。そういった中で、二〇一七年の台風被害を目の当たりにしました。私たちすべての会員が青春時代を過ごした東野高校の危機の際に、現金の寄付口座を立ち上げました。今度も寄付へのご理解を賜りますようお願い致します。

二〇二五年 大同窓会決定!

大同窓会、企画募集はがきを同封致しました。皆さんのご意見をお聞かせ下さい。

現在、同村会では「大同窓会」開催の場所探しをおこなっています。二〇二五年九月におこなわれた「三十周年記念パーティー」は、東野高校の大講堂にて軽食をお出しし、会費を取らないパーティーをおこないました。四十周年の大同窓会は、会費制にし、ゆつくりと会話もできるような大人のパーティーにしようと思われました。会員の皆様の負担を少しでも減らせるように、現在話し合いを続けています。

前回の会報巻首に同封致しました「企画募集のはがき」にご回答くださった皆さん、ありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。たくさん返信があり、嬉しい限りでした。

返信いただいたものの中に多いのは、やはり「恩師との再会」を願う声です。大人になっても、恩師は特別な存在です。お辞めになった先生含め、お世話になったすべての先生方にいらしていただきたいと思っています。学校の協力なくては実現できませんが、会員の皆さんも、是非、ご協力お願い致します。また「大同窓会」の準備、運営をお手伝いいただける方も募集しています。

皆さんが楽しめる、そして、思い出に残るような「大同窓会」を開催したいと思っています。



第36回 盈華祭
9月11日・12日

一日目は、生徒と教職員のみでの開催。ホームルーム通りの空には、色とりどりの透明パラソルが飾り付けられました。また東野SDGsとして「十年後の東野のキャンパス模型」「牛乳パックなどで作ったランタン」などが展示

されました。第一の門と正門の間には、毎年恒例となった、生徒のメッセージが書かれた風鈴も飾られました。二日目は「文化祭On line」とし、クラブ発表などを自宅で視聴しました。

盈華祭／体育祭開催！

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、新しいスタイルでの開催を試みました。

第23回 体育祭
9月22日

クラス対抗大縄跳び・綱引き・クラス対抗リレー・部活動対抗リレー・竹棒を使った「棒引き」「棒跳び」など、青空のもと行われました。入間ケーブルテレビの協力に

より、競技は教室でライブ中継。出場する生徒のみグラウンドに集まるといった新しい体育祭の試みでした。学年主任の先生三名による実況放送はとて好評でした。

第二十三回
体育祭実行委員長
大関 百愛さんから



私が東野高校で過ごした日々を一言で表すなら、それは「成長」です。この三年間で私は、本当に大きく変わりました。中学生の時の私は、何事も「自分には出来ない」とすぐに諦めていました。思い立っても行動するのをためらい、少し経つてから「やれば良かった」と後悔ばかりしていました。

そのように中、私を厳しく指導し、悩みに寄り添ってくださり、人として成長させてくださったのは、顧問の須釜洋勝先生でした。先生のおかげで、しっかりと自分の意見を伝えたり、自信をもって活動できるようになっていきました。マネージャーとしてチームを良くすることを「考える」だけでなく、「行動に移せる」ようになっていったからです。その結果、多くのドラマを沢山経験し、とても成長できたと感じています。そして、この日々があったからこそ、体育祭実行委員長という役目にも「やり遂げよう」と思えました。多くの方の協力のおかげで、精一杯取り組むことができたと思っています。

そんな私を変えてくれたのが東野高校でした。入学を機に、サッカー部のマネージャーになりました。小学生の頃から憧れていたからです。「自分なんかには」と、思いがちな私が初めて「挑戦したい」「やり遂げたい」と思えた瞬間でした。もともと、人見知りはいない方でしたが、最初は戸惑いと失敗ばかりでした。これほど沢山の方としっかりと接する機会がなかったからです。ですから、一年次は、精一杯努力して活動していました。が、いつしか緊張やプレッシャーという壁が立ち上がり、苦しい日々でした。二年次は、新型コロナウイルスの影響により、部活にも大きく制限が掛かりました。また二人しかいなかったマネージャーのうち、頼りにしていた先輩が引退してしまい、一人で百人の選手たちを支える事となりました。

その他のことに関しても、東野高等学校に入学できたから挑戦し、成長できたと感じています。これからは、東野高校で得た学びを生かし知識を増やし、忍耐を忘れず、品行としての見本となるような大人を目指して成長し続けていきたいと思えます。

2021年度学事報告

4月9日(金)	入学式・始業式・音楽鑑賞会 (弦楽器による演奏)所沢ミュージズ
10日(土)	対面式・オリエンテーション
13日(火)	平常授業開始
26日(月)	東野walk(1年武蔵丘陵森林公園)

5月3日(月)	吹奏楽部定期演奏会
18日(火)~21日(金)	中間考査
24日(月)~28日(金)	英検週間
24日(月)~	教育実習生 受け入れ
26日(水)	TGG(校外学習)(2年)
29日(土)	英語検定①

6月6日(日)	入間市清掃デー・地域公開
15日~26日	英検2次対策

7月2日(金)~6日(火)	期末考査
3日(土)	創立記念日
20日(火)	1学期終業式
28日(水)~31日(土)	3年勉強合宿 1,2年生は中止

8月23日(月)	2年Iクラスカナダ留学出国 (11月16日(火)帰国)

9月1日(水)	始業式
6日(月)	28期生ウォルシュ・ジュリアン選手 (オリンピック報告のため来校)
11日(土)・12日(日)	文化祭 在校生のみで実施 (土曜日:各クラス展示・発表、 日曜日:Onlineで発表)
22日(水)	体育祭 在校生のみで実施 (校内で実施、競技に関しては解説付きで live配信し、各クラスで応援)

27日(月)~10月1日(金)	英検週間

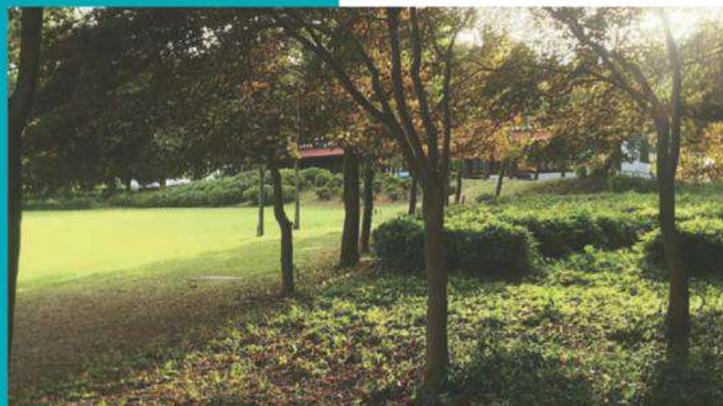
10月2日(土)	英語検定②
4日(月)	23期生矢澤亜希選手 (オリンピック報告のため来校)

19日(火)~22日(金)	中間考査

11月16日(火)	芸術鑑賞会 (鼓童による太鼓演奏)所沢ミュージズ

部活動の活躍

- 陸上競技部(男子):走高跳 北関東大会優勝・インターハイ出場
(女子):中距離 県大会出場
- ダンス部 :関東大会(2部門)優勝 全国大会(北九州)出場
- 吹奏楽部 :日本管楽合奏コンテスト 全国大会 優秀賞
:埼玉県アンサンブルコンテスト 銅賞
- サッカー部 :全国高校選手権埼玉大会ベスト16
- 剣道部(男子) :春季大会(団体、個人)県大会出場



学校からの 近況報告

現在の東野高等学校は大きく変化したところもありますが、引き継いでいるところもたくさんあります。今後もより発展させられるように、生徒とともに教職員一同全力で取り組んでいきます。

今年度のリーフレットを同封していただきました。現在の本校の取り組みや現状を確認してください。また、お知り合いの方に是非お勧めください。

卒業生の皆さんへ

相談役 西本 敬(東野教職員)

◆昨年から続く新型コロナウイルス感染拡大により、この二年間、在校生たちは様々な制限を余儀なくされてきました。学校生活についての楽しみでも「行事」や「部活動」も、思うように開催・活動できませんでした。◆しかし、そんな状況の中でも、生徒たちの「やりたい!」の想いに先生方は応えようとし、「出来ない」ではなく「どうすれば出来るか?」を生徒と共に模索し、奮闘しているように見えました。

感染対策を第一に考えながら、工夫を凝らし、新たな様式を試みていらっしゃいました。◆そんな中、オリンピックに出場した卒業生二名の来校には、在校生に良い刺激となったのではないかと思っています。◆部活動での活躍は左に記載しています。その他、学業面でも、英語検定試験「二級」合格者が出ました。コロナウイルスに負けない在校生の華々しい活躍に健闘を讃えたいと思います。

合言葉は

“ 会報届いてる? ”

3,400人ほどの卒業生が行方不明です!!
会報届いていない卒業生知ませんか?
会報届いていない卒業生には「大同窓会」のお知らせをお送りできません。盈華祭のお知らせもお送りできません。卒業してからも、同村会とそして、東野高校と繋がっててください。

発行者 東野高等学校同村会(同窓会)

〒358-8558 埼玉県入間市二本木112-1 東野高等学校内

FAX 04-2934-6462

メールアドレス info@dousonkai.com

ホームページ https://www.dousonkai.com

